

仙台市本庁舎建替基本設計公募型プロポーザル 第1回審査委員会 議事録

日 時： 令和2年8月24日(月) 15:03~17:34

場 所： 本庁舎3階 第一応接室 ※WEB会議システムにて実施

委 員： 伊東豊雄委員、乾久美子委員、小林光委員、佐々木睦朗委員、佐藤滋委員、岩城利宏委員
(岩城委員を除き五十音順)

内 容： (1)委嘱状確認

(2)市長あいさつ

(3)委員紹介

(4)委員長・副委員長の選出

(5)委員会の進め方

(6)議事

①会議の公開・非公開、議事録の作成について

②公募型プロポーザル実施要領(案)・評価要領(案)について

③今後のスケジュールについて

(1)委嘱状確認

(2)市長あいさつ

・ 委員を引き受けていただいたこと、感謝する。

・ 多くの方の協力を得て、今年7月に本庁舎建替基本計画が作成された。

・ 本庁舎建替は市にとって100年に一度ともいえるイベント。防災環境都市にふさわしい、未来にとっても象徴的な建物となることを期待しており、職員が働き行政サービスを提供することに加えて、市民協働やまちづくりに資する場としたい。

・ 委員の皆様には、専門的知見を十分に生かしていただき、より良い庁舎となるよう検討をお願いしたい。

(3)委員紹介

(4)委員長・副委員長の選出

・ 委員の互選により、委員長は伊東委員に、副委員長は佐藤委員となった。

(5)委員会の進め方

・ 事務局より、会議の公開・非公開、議事録、委員の出席について説明があった。

(6)議事

①会議の公開・非公開、議事録の作成について

委員長) 本日の会議は設計者選定に関わる内容であり、審議内容の中立性を担保する観点から非公開とすることでよろしいか。

一 同)異議なし

委員長) 議事録の作成について、私と名簿順に乾委員の署名をもって正式な議事録とすることでよろしいか。

一 同)異議なし

②公募型プロポーザル実施要領(案)・評価要領(案)について

※ 事務局より実施要領(案)について説明

乾)管理技術者と建築設計主任技術者は資格が共通する。多くの参加者を募るといった観点から兼任を認めるかどうか、意見を伺いたい。

佐々木)幅広く募るという趣旨では、そのほうが良いと考える。

佐藤)幅広く応募できるのは望ましいが、庁舎ということで一定の限定は必要と考える。

小林)より広く募るという点については同意。

岩城)低層部のにぎわい、執務室のレイアウトを基本設計に反映させる工程となっている。設計者には短期間で業務量が集中することが想定されるため、兼任不可とした方が望ましい。

事務局)面積が大きいので、業務を分けたほうが円滑に進む。協力事務所の活用も可能としており、管理技術者にはマネジメント能力を期待している。

委員長)原案どおり兼任は不可としたい。

構造を外部事務所に委託するケースが多いが、複数の提案者に同一の構造事務所が重複して参画するという事は可能か。

乾)設備系の協力事務所は全国的に少ない状況。

事務局)単体企業もしくは JV の構成員として本プロポーザルに参加していないことを条件としている。協力事務所の取扱いについては、構造・設備の事務所は全国的に限られているため、本市のこれまでの取扱いも参考に、同一の協力事業所の主任技術者の兼任を3者まで可とすることとしたい。

委員長)審査スケジュールに関して、一次審査は、全委員が集まって審査をするという予定か。

事務局)感染症の状況にもよるが、基本は集まっていたでの審査と考えている。

岩城)先ほど市長からあったとおり、市民・議会の関心が非常に高いプロジェクトであり、公平性・透明性・中立性が大事である。2次審査のプレゼンテーションを公開で行うという提案があるが、いかがか。

一同)異議なし。

佐藤)技術提案書の4つのテーマについて、それぞれ個別の評価項目という認識か。

乾)テーマは、本庁舎建替基本計画の4つの共通理念と関連した書き方としたほうが良いのではないか。

事務局)この案におけるテーマは、本庁舎建替基本計画の共通理念のエッセンスを混ぜ込んだ形としており、提案側にわかりやすいように設定したもの。

小林)この案では、テーマ3と4に環境に関するテーマがあり、重複している部分があるため提案者に意図を示してあげた方が分かりやすいと考える。環境があまりにも広い言葉となっているので、持続可能性など、本庁舎建替基本計画に沿って表現できないか。

佐藤)災害時の活用などの例示が気になる。災害時の役割の方がいいのでは。テーマ4の①環境と②防災の分野が離れすぎていて、どちらに重きを置いて審査すべきか悩ましい。

岩城)防災環境都市を標榜しており、災害時にあっても、市がヘッドクォーターとしてコントロールする役割を果たすべき。堅牢な建物で、市民の安全安心を守ることができる、必要な情報を集め、支援できる役割を果たすことが大事。災害時の活用イメージとの表現は、意図とは異なる印象を与える可能性があるのであれば、工夫が必要。

事務局)本庁舎建替基本計画を踏まえ、改めて4つのテーマの表現の仕方を工夫したい。

乾) 本庁舎建替基本計画や基本構想には議場の位置などのゾーニングが書かれているが、いつ決まったのかが読み取れない。ゾーニングなどについては、提案を検討する参加者が気にするところと思うので、経緯などを伺う。

事務局) 議会機能の配置については、市議会で議論・答申をいただいたもの。「市民に開かれた」とはどのようなことかについても議会で議論いただき、低層部には市民が集まる賑わいの創出機能があるべきこと、また、議場は柱がなく天井が高い構造となるため、コスト的に高層階のほうが良いためである。他の機能については、ある程度自由に提案いただきたいが、議会機能は答申を踏まえ高層階とするもの。

委員長) これを前提とするも、例えば、屋上に広場を設けるといった提案もありうるか。

事務局) それはありうる。

委員長) 了解した。

佐 藤) 実施要領(案)にある別添資料は、参考とするものか、守るべき要件となるものか。

事務局) 別添資料のうち、スペースのリストと低層部に関する内容は、一部がマストとなる。これが分かるよう資料を修正したい。

※ 事務局より評価要領(案)について説明。

乾) 組織内の優秀な技術者が実際にこの事業に関わってもらえるよう、配置予定である技術者の実績も評価したほうが良いと思う。

事務局) 評価要領(案)では、法人の実績、受賞歴、配置予定技術者の実績、本店要件の 4 項目を設けており、配置予定技術者の受賞歴は設けていない。

委員長) 法人として受賞歴があっても、受賞した技術者の在不在は問われていないということか。担当者の実績を評価するべきではないかという意見と思うが、受賞歴を含む実績については、客観的に決まってくるもので、委員があまりものを言う箇所ではない気がするのだが。

乾) 受賞歴がある優秀な技術者をアピールできるようにしたほうが良いと思う。

佐 藤) 組織としての実績だけを見るよりは、そのほうが良いと思う。

事務局) いただいた意見を踏まえ、事業の重要性を鑑み、優秀な配置予定技術者を本事業に確保する観点から、配置予定技術者の受賞歴も評価することとしたい。

岩 城) 先ほど、防災環境都市の話をしたが、加えて、市の財政は、社会保障費の増大やコロナ対応等もあり、厳しい状況が続く。優秀な設計者を選定するとともに、事業費の縮減という観点も重要である。

一同) 了解した。

③今後のスケジュールについて

・事務局より、今後のプロポーザルのスケジュール等について説明があった。